

## 「CAD 製図基準(案)」の主な追加・変更点

### 1. データ交換フォーマットに関する規定の修正 (SXF(P21)による納品の明示)について

「CAD 製図基準(案)平成13年8月」には納品用のCADデータ交換フォーマットの指定はなく、受発注者双方で協議の上決定することとしていました。

一方、国土交通省では、受注者がどのソフトウェアを使用して作成したCADデータでも、発注者が保有するソフトウェアで利用できるようにするため、ISO10303に基づくCADデータ交換標準フォーマット[SXF(P21)]の開発を行ってきました。昨年10月には、SXF(P21)の共通基盤ソフトウェアが完成し、公開を開始した結果、これまでに、いくつかのベンダーからSXF(P21)対応CADソフトウェアの販売が開始されています。また、今後も様々なベンダーから対応製品が発売される予定となっています。

このような状況を踏まえ、CADベンダー及びユーザーが十分に対応できるよう猶予期間を設けた上で、SXF(P21)による納品を「CAD 製図基準(案)」により明示するものです。

CADデータ交換フォーマットは原則としてSXF(P21)とする。ただし、平成14年度に限り、これによることが困難な場合においては、受発注者間双方で協議の上フォーマットを決定することとする。

詳細については、「CAD 製図基準(案)平成14年2月」のP12を参照してください。

## 2. 追加 10 工種について

「CAD 製図基準（案）平成 13 年 8 月」では、4 工種（道路、橋梁、河川（樋門・樋管）、山岳トンネル）の基準を作成していますが、今回新たに 10 工種を追加しました。

10 工種の追加にあたり下記の項目について追記しました

- (1)各工種における図面ごとの作成概要（対象図面・尺度・記載内容等）
- (2)各図面におけるファイル名の規定（ファイル名・図面名等）
- (3)各図面におけるレイヤの規定（レイヤ名・線色・線種等）

本年度追加対象とする工種は、表 1 に示すとおりです。

表 1 追加 10 工種一覧

平成 13 年度追加対象工種		「CAD 製図基準(案)平成 14 年 2 月」 対応ページ
道 路	(1) 平面交差点	P40-47・160・166・177-180
	(2) 立体交差点	P48-58・160・166・181-185
	(3) 共同溝	P59-67・161・167・186-191
	(4) 電線共同溝	P68-80・161・167・192-197
河 川	(5) 築堤・護岸	P95-105・163・168・209-214
トンネル	(6) シールドトンネル	P115-128・164・169・222-235
海 岸	(7) 離岸堤、人工リーフ等	P129-133・164・169・236-238
砂防構造物	(8) 砂防ダム及び床固工	P134-141・165・170・239-244
ダ ム	(9) 重力式コンクリートダム	P142-152・165・170・245-255
下 水 道	(10) 管路	P153-158・165・171・256-260

詳細については、表 1 の対応ページに従い「CAD 製図基準（案）平成 14 年 2 月」を参照してください。